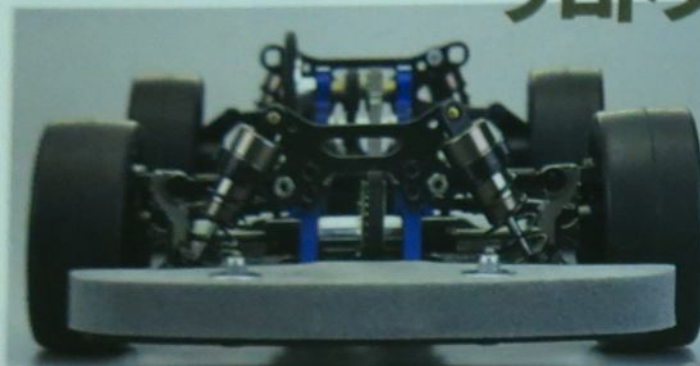


TRF404X

プロトタイプ

404Xは、各アライメントの寸法や、基本設計を探るために作られたシャシー。製品化された414Xとの違いも数多い。パット見ためでは分かりにくいですが、サスアームはショートスパン、ホイールベースも3mmほど長くなっている。もちろんメイン、アッパーシャシーの形状も異なるが、厚さや材質は同一。実際にレースに出場したりしてこのシャシーのポテンシャルを探った。



サスアームが短く、タミヤ・ツーリングカー用のタイヤ&ホイールが装着されたプロトタイプ。ここからまた別の展開が?!



プロトタイプだったため、各パーツはほとんどワンオフ製作された。これにより「同じマシンは存在しない」貴重なマシン。この時点で発売するという事は全く決まっていなかったという

精度の高いパーツでデー

アメリカ市場の強い要望により、密かにタミヤ企画開発部で進行していた、2ベルトダブルデックシャシー1404X。このネーミングはタミヤファンならご存じの方もあると思うが、タミヤでは競技専用には作られなかった、バギー、ピュアレーサーはこの数字3文字で表され、以前にも様々なレースに参加し、そのときにもこの

ようなネーミングは何度か使用されていたのだ。

414が日本で発売されるまでには、プロトタイプシャシーの製作や、24時間耐久レースなどと

いった重取りを行材質、ダブルセンター、数えのデータしたデータのは、技術が高い。製品を知りたいアリの違いをそうしたクオリティレースでの仕様としてしっかり受

